
研究集会のお知らせ

日本カリキュラム学会 代表理事:松下 佳代

研究委員会委員長:子安 潤

テーマ

指導要録の課題を検討する

趣旨

2018年12月、児童生徒の学習評価に関するワーキンググループの議論の整理（「児童生徒の学習評価の在り方について」）が出され、指導要録改訂をはじめ、新学習指導要領に対応する評価のあり方が示された。高校における観点別評価の本格的導入、資質・能力の三つの柱に対応した観点の再構成、特に「主体的に学習に取り組む態度」をメタ認知（自己調整）を軸に捉えるといった点がポイントとなるが、審議過程においては、評定欄の廃止の可能性が探られるなど、これまでの評価システムを根本的に再考する議論もなされた。本研究集会では、今回の指導要録改訂のポイントを確認しながら、その可能性と課題について議論したい。

日時： 2019年3月3日（日）14時～17時（受付 13時30分～）

場所： お茶の水女子大学 共通講義棟1号館203室

コーディネーター

石井英真（京都大学）、子安潤（中部大学）

登壇者

石井英真氏（京都大学）

上村慎吾氏（新潟大学教育学部附属新潟中学校）

菅間正道氏（自由の森学園）